

4年間の学び

	1年次	2年次	3年次	4年次
	一般教育・専門基礎分野、医学知識・リハビリテーションについて学びます	疾病と障がいへの成り立ちや回復過程を学びます	理学療法より専門的な知識・治療技術が学べます	治療の流れを経験し卒業研究や国家試験対策をおこないます
専門基礎分野	<b>人体の構造と機能および心身の発達</b> すべての基礎となる解剖学や生理学などを学びます。	<b>解剖学I・II</b> ●人間発達学 ●運動機能解剖学 ●解剖学I・II ●生理学I・II ●運動学I・II	<b>運動学実習</b> ●解剖学実習 ●運動学実習 ●生理学実習	<b>卒業研究</b> 質の高い研究論文活動に取り組むことで、卒業後も研究活動を継続して、大学院に進学する学生や就職後の学会発表をおこなう学生も多数います。超音波診断装置を用いて、卒業研究で使用する大腿部前面の筋電データを測定しています。
	<b>疾病と障がいへの成り立ちおよび回復過程の促進</b> 専門分野別に疾病について詳しく学びます。	<b>解剖学I・II</b> では、身体構造の基礎となる細胞、組織、器官などの基本構造を学び、人体の成り立ちとその機能の関係を理解します。特に運動器(神経系、骨格系、筋系など)に関しては、より深く学びます。	<b>理学療法の中核となる運動療法の実践には運動学の知識が必要不可欠となるため、人の身体運動を機能・構造の視点から、さまざまな機器を用いて分析する方法を学びます。</b> (写真は姿勢と動作の測定方法を学ぶ様子)	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。
専門分野	<b>保健医療福祉とリハビリテーションの理念</b> コミュニケーションからリスク管理まで、幅広く学びます。	<b>医療と福祉</b> ●医学概論 ●障害予防学 ●障害予防学実習	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。	<b>チーム医療論</b> <b>チームアプローチおよび理学療法部門の管理運営の理解</b> 多職種との連携などのチームアプローチや理学療法部門の管理運営の実践について学びます。
	<b>基礎理学療法学</b> 理学療法について基本から応用、研究法について学びます。	<b>理学療法概論</b> ●理学療法基礎セミナー ●基礎理学療法学 ●健康運動管理学 ●健康運動管理学実習I	<b>理学療法研究法</b> ●理学療法研究法 ●スポーツ障害理学療法学実習 ●理学療法学実習 ●基礎運動療法学 ●義肢装具学 ●義肢装具学実習 ●スポーツ障害学 ●スポーツ障害理学療法学実習	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。
	<b>理学療法評価学</b> 理学療法に必要な評価方法、実施について学びます。	<b>理学療法評価学I</b> <b>リハビリテーション医学</b> 単なる機能回復の治療ではないリハビリテーションの本来の意味を、臨床例をあげながら追求します。	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。
	<b>理学療法治療学</b> 疾病別の理学療法について詳しく学びます。	<b>理学療法評価学II</b> <b>理学療法学実習II</b> <b>理学療法学実習II</b> <b>理学療法学実習II</b>	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。
	<b>地域理学療法学</b> 地域理学療法に必要な知識、実践能力を学びます。	<b>理学療法学実習II</b> <b>理学療法学実習II</b> <b>理学療法学実習II</b>	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。
	<b>臨床実習</b> 病院および福祉施設にて見学から評価・治療を学びます。	<b>理学療法学実習II</b> <b>理学療法学実習II</b> <b>理学療法学実習II</b>	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。	<b>理学療法に関する研究実践を学ぶ</b> 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。

**理学療法士国家試験 受験・合格**

**就職・進学**

**めざせる未来・活躍できる仕事**

**行政機関**

- 公立病院
- 県・市町村役場
- 公務員 など

**病院関係**

- 大学病院
- 総合病院
- 回復期リハビリテーション病院
- 小児リハビリテーション病院
- クリニック(診療所) など

**福祉施設**

- 児童福祉施設
- 高齢者福祉施設
- 心身障がい者施設
- 介護保険関連施設
- 訪問リハ・通所リハ・通所介護事業所 など

**その他**

- 大学院へ進学
- 理学療法士養成校(教員)
- スポーツジム・フィットネス施設 など

**進学・就職 最新情報**

**未来のチカラ**

**卒業生 Voice**

信州大学医学部 付属病院  
**喜馬 正至 さん**  
 理学療法学科  
 2021年度卒業

夢を実現できる環境で 過ごした時間を現在の糧に

理学療法士として、入院された患者さんの体力・筋力づくりや自宅の環境整備、再入院予防などの支援をおこなうことで、元の生活に戻ってお手伝いをしています。大学時代、ゼミで伺った施設で高齢者の方々と接する機会があり、その経験が円滑なコミュニケーションを形成するために役に立ったと感じています。就職活動時には、先生方に自分のなりたい理学療法士像を相談し、丁寧に指導いただいたおかげで無事に就職できました。これからもさらに研鑽を深めながら、患者さんに寄り添える理学療法士をめざします。

■ 1年生から卒業まで支える、基礎ゼミ&研究ゼミ



学生が大学生活になじめるよう、各教員が少人数制の個別指導をおこなう理学療法基礎セミナー(基礎ゼミ)を1年次から導入しています。基礎ゼミでは、大学生生活のアドバイスから解剖学など基礎医学分野の補講、車椅子の使用など、各教員が学生に合わせた教育をしています。3年次には、理学療法研究セミナー(研究ゼミ)を開始し、研究ゼミ活動では、個別指導による研究や各教員の専門分野などの専門教育をおこなひ、最先端の医療・研究機器を使用して卒業研究に取り組みます。その集大成として卒業研究論文を書き、卒業研究論文集を作成。その内容は、リハビリテーション分野でも質の高い内容となっています。

■ 実践力を身につける臨床実習

1年次・2年次の見学実習で医療現場や施設の現状を理解し、3年次・4年次では理学療法士としての治療に関する全般を実践します。実習先は徳島県にとどまらず、県外の専門的な病院でも実習をしています。実習期間中は、学生の不安や疑問を解消するために、本学科の教員が実習先に訪問して、援助・支援をおこなっています。

■ 理学療法士 国家試験対策 ~全員合格をめざして~

**理学療法士国家試験対策が万全**

4年次後期スケジュール

9月	10月	11月	12月	1月	2月
講義・セミナー(5回)					
理学療法総合演習					
学内模擬試験(計3回)					
学外模擬試験(計10回)					

4年次後期には「理学療法総合演習(分性別)」における対策指導、特別講義、模擬試験などを集中的におこなひ、理学療法士国家試験「全員合格」をめざします。

■ 地方上級公務員をめざして

理学療法士としての就職の道を広げるため、本学では公務員対策に力を入れています。また、全学共通教育センターと協力して、講座を開講したり、実際に働いている先輩を呼んで講話などをおこなっています。